

武田祐吉

訂増
萬葉集全註釋 五

本文篇三（卷の四・五）

角川書店

(全十四卷・第十一回配本)

昭和三十三年六月十日 初版發行
昭和四十二年一月二十日 五版發行

増訂萬葉集全註釋 五卷の四・五

定價 八百圓

著者 武田祐吉

發行者 角川源義

印刷者 中内あき子

東京都豊島区高田一ノ十二

發行所 株式會社 角川書店

東京都千代田區富士見二ノ十三

振替東京一九五二〇八番

電話東京(都)セ一一(大代表)

(落丁・亂丁本はお取り替えます)

© 1957

Printed in Japan

中光印刷・鈴木製本

目次

萬葉集卷の第四

相聞

難波の天皇の妹の、倭にいます皇兄に奉り上ぐる御

歌一首 (四八四)……………三

岳本の天皇の御製一首 短歌并はせたり (四八五・八七)……………二六

額田の王の、近江の天皇を思ひて作れる歌一首

(四八六)……………三

鏡の王女の作れる歌一首 (四八九)……………三

吹^ふ茨^{やぶ}の刀^{やぶ}自^{みづか}の歌二首 (四九〇・九一)……………三

田部の忌寸^{いみ}櫛^{くし}子の、大宰に任せられし時の歌四首

(四九一・九二)……………三

柿の本朝臣人麻呂の歌四首 (四九六・九七)……………四

萬葉集卷第四

相聞

難波天皇妹 奉^た上^あ在^に山跡^{やまあと}皇兄^{みまの}に御歌一

首

岳本天皇御製一首 并^に短歌一

額田王 思^{おも}近江天皇^{みまの}作歌一首

鏡王女作歌一首

吹^ふ茨^{やぶ}刀^{やぶ}自^{みづか}歌二首

田部忌寸櫛^{くし}子 任^{まか}大宰^{おほのみ}時歌四首

柿本朝臣人麻呂歌四首

碁の檀越の伊勢の國に往きし時、留まれる妻の作れ

る歌一首 (五〇〇)..... 五〇

柿本の朝臣人麻呂の歌三首 (五〇一・三)..... 五二

柿本の朝臣人麻呂の妻の歌一首 (五〇四)..... 五三

阿倍の女郎の歌一首 (五〇五・六)..... 五五

駿河の嫁女の歌一首 (五〇七)..... 五七

三方の沙彌の歌一首 (五〇八)..... 五八

丹比の眞人笠麻呂の、筑紫の國に下りし時、作れる

歌一首 短歌并はせたり (五〇九・一〇)..... 六一

伊勢の國に幸でましし時、當麻の麻呂の大夫が妻の

作れる歌一首 (五一)..... 七〇

草の嬢の歌一首 (五二)..... 七〇

志貴の皇子の御歌一首 (五三)..... 七三

阿倍の女郎の歌一首 (五四)..... 七三

中臣の朝臣東人の、阿倍の女郎に贈れる歌一首

(五五)..... 七五

阿倍の女郎の、報へ贈れる歌一首 (五六)..... 七六

大納言兼大將軍大伴の卿の歌一首 (五七)..... 七六

碁檀越往伊勢國二時 留妻作歌一首

柿本朝臣人麻呂歌三首

柿本朝臣人麻呂妻歌一首

阿倍女郎歌二首

駿河嫁女歌一首

三方沙彌歌一首

丹比眞人笠麻呂下筑紫國時 作歌一首

并二短歌一

幸伊勢國二時 當麻麻呂大夫妻作歌一首

草嬢歌一首

志貴皇子御歌一首

阿倍女郎歌一首

中臣朝臣東人 贈阿倍女郎歌一首

阿倍女郎報贈歌一首

大納言兼大將軍大伴卿歌一首

石川の郎女の歌一首 卽、大伴の佐保の大家なり (五二八) 六

大伴の女郎の歌一首 今城の王の母なり。今城の王は後継大原

の眞人の氏を賜へり (五二九) 七九

後の人の、追ひて同にせる歌一首 (五三〇) 八二

藤原の宇合の大夫の、任を遷さえて京に上りし時、

常陸の娘子の贈れる歌一首 (五三一) 八三

京職の大夫藤原の麻呂の大夫の、大伴の郎女に贈れ

る歌三首 (五三二) 八四

大伴の郎女の、和ふる歌四首 佐保の大納言の卿の女なり

(五三三) 八五

また、大伴の坂上の郎女の歌一首 (五三九) 九三

天皇の、海上の女王に賜へる御歌一首 寧樂の宮に位に

即きたまひし天皇なり (五四〇) 九五

海上の女王の、和へまつれる歌一首 志貴の皇子の女な

り (五四一) 九七

大伴の宿奈麻呂宿祢の歌二首 佐保の大納言の卿の子なり

(五四二) 九八

安貴の王の、戀の歌一首 短歌并はせたり (五四三) 一〇〇

石川郎女歌一首 卽大伴佐保大家也

大伴女郎歌一首 今城王之母也、今城王者後賜二

姓大原眞人氏一也

後人追同歌一首

藤原宇合大夫遷レ任上レ京時 常陸娘子贈

歌一首

京職大夫藤原麻呂大夫 贈三 大伴郎女歌

三首

大伴郎女和歌四首 佐保大納言卿の女也

又大伴坂上郎女歌一首

天皇 賜三 海上女王二御歌一首 寧樂宮即レ位

天皇也

海上女王奉レ和歌一首 志貴皇子之女也

大伴宿奈麻呂宿祢歌二首 佐保大納言卿の子也

安貴王戀歌一首 并二短歌一

門部の王の、戀の歌一首 (五五六)…………… (二五)

高田の女王の、今城の王に贈れる歌六首 (五五七)…………… (二七)

神龜の元年甲子の冬十月、紀伊の國に幸でましし時、

從駕の人に贈らむために、娘子に詠へらえて

笠の朝臣金村の作れる歌一首 短歌并はせたり

(五五八)…………… (二三)

二年乙丑の春三月、三香の原の離宮に幸でましし時、

娘子を得て笠の朝臣金村の作れる歌一首 短歌并

はせたり (五五九)…………… (二〇)

五年戊辰、大宰の少貳石川の朝臣足人の遷任するに、

筑前の國の蘆城の驛家に餞する歌三首

(五六十)…………… (二四)

丹生の女王の、大宰の帥大伴の卿に贈れる歌二首

(五六一)…………… (二三)

大伴の宿禰三依の歌一首 (五六二)…………… (二三)

大宰の帥大伴の卿の、大貳丹比の縣守の卿の民部の

卿に遷任せらゆるに贈れる歌一首 (五六三)…………… (二三)

賀茂の女王の、大伴の宿禰三依に贈れる歌一首

門部王戀歌一首

高田女王 贈今城王歌六首

神龜元年甲子冬十月 幸紀伊國之時

爲贈從駕人所詠娘子、笠朝

臣金村作歌一首 并短歌一

二年乙丑春三月 幸三香原離宮之時得

娘子笠朝臣金村作歌一首 并短歌一

五年戊辰 大宰少貳石川朝臣足人遷任

餞于筑前國蘆城驛家歌三首

丹生女王 贈大宰帥大伴卿歌二首

大伴宿禰三依歌一首

大宰帥大伴卿 贈大貳丹比縣守卿遷任

民部卿歌一首

賀茂女王 贈大伴宿禰三依歌一首

(五七)……………一三

土師の宿禰水通の、筑紫より京に上る海路にて作れ

る歌二首 (五七・五八)……………一三

大宰の大監大伴の宿禰百代の、戀の歌四首

(五九・六〇)……………一三

大伴の坂上の郎女の歌二首 (五九・六〇)……………一四

賀茂の女王の一首 (五九)……………一四

大宰の大監大伴の宿禰百代等の、驛使に贈れる歌二

首 (五九・六〇)……………一四

大宰の帥大伴の卿の、大納言に任けられて京に入ら

むとする時に臨み、官人等の、筑前の國の蘆

城の驛家に卿を餞する歌四首 (五九・六〇)……………一五

大宰の帥大伴の卿の京に上りし後、笠の滿誓の沙彌

の、卿に贈れる歌二首 (五九・六〇)……………一五

大納言大伴の卿の、和ふる歌二首 (五九・六〇)……………一五

大宰の帥大伴の卿の京に上りし後、筑後の守葛井の

大成の連の、悲嘆みて作れる歌一首 (五九)……………一五

大納言大伴の卿の、新しき抱を攝津の大夫高安の王

土師宿祢水通 從_レ筑紫上_レ京海路作歌一首

大宰大監大伴宿祢百代 戀歌四首

大伴坂上郎女歌二首

賀茂女王歌一首

大宰大監大伴宿祢百代等 贈_レ驛使_二歌_一二

大宰帥大伴卿 被_レ任_二大納言_一臨_二入_レ京之時_一、府官人等餞_二卿于筑前國蘆城驛_一

家_二歌_一四首

大宰帥大伴卿上_レ京之後 笠滿誓沙弥贈

大納言大伴卿和歌二首

大宰帥大伴卿上_レ京之後 筑後守葛井大成

連悲嘆作歌一首

大納言大伴卿 新抱贈_二攝津大夫高安王_一、

に贈れる歌一首 (五七).....一六〇

大伴の宿禰三依の、別れを悲しめる歌一首 (五八).....一六二

余の明軍の、大伴の宿禰家持に與ふる歌二首 明軍は

大納言の卿の資人なり (五九・六〇).....一六三

大伴の坂上の家の大嬢の、大伴の宿禰家持に報へ贈

れる歌四首 (六一・六四).....一六五

大伴の坂上の郎女の歌一首 (六五).....一六六

大伴の宿禰稻公の、田村の大嬢に贈れる歌一首 姉坂

上の郎女の作れる (五六).....一六七

笠の女郎の、大伴の宿禰家持に贈れる歌二十四首

(五七・六〇).....一七〇

大伴の宿禰家持の、和ふる歌二首 (六一・六三).....一七二

山口の女王の、大伴の宿禰家持に贈れる歌五首

(六三・六七).....一七五

大神の女郎の、大伴の宿禰家持に贈れる歌一首

(六八).....一七七

大伴の坂上の郎女の、怨恨の歌一首 短歌并はせたり

(六九・七〇).....一八〇

歌一首

大伴宿禰三依悲別歌一首

余明軍 與大伴宿禰家持二歌二首 明軍者

大納言卿之資人

大伴坂上家之大嬢 報贈大伴宿禰家持

歌四首

大伴坂上郎女歌一首

大伴宿禰稻公 贈田村大嬢 歌一首 姉坂

上郎女作

笠女郎 贈大伴宿禰家持二歌廿四首

大伴宿禰家持和歌二首

山口女王 贈大伴宿禰家持二歌五首

大神女郎 贈大伴宿禰家持二歌一首

大伴坂上郎女 怨恨歌一首 并短歌二

西海道の節度使の判官佐伯の宿禰東人が妻の、夫の

君に贈れる歌一首 (六三二)……………三〇四

佐伯の宿禰東人の、和ふる歌一首 (六三三)……………三〇六

池邊の王の、宴に誦める歌一首 (六三三)……………三〇六

天皇の、酒人の女王を思ひます御製の歌一首 女王は
穗積の皇子の孫女なり (六三四)……………三〇八

高安の王の、裏める鮎を娘子に贈れる歌一首 高安の
玉は、後姓大原の真人の氏を賜へり (六三五)……………三〇九

八代の女王の、天皇に獻れる歌一首 (六三六)……………三一〇

娘子の、佐伯の宿禰赤麻呂に報へ贈れる歌一首 (六三七)……………三一二

佐伯の宿禰赤麻呂の、和ふる歌一首 (六三八)……………三二四

大伴の四綱の宴席の歌一首 (六三九)……………三二五

佐伯の宿禰赤麻呂の歌一首 (六四〇)……………三二六

湯原の王の、娘子に贈れる歌二首 赤貴の皇子の子なり
(六三三)……………三二六

娘子の、報へ贈れる歌二首 (六三三・三四)……………三二八

湯原の王の、また贈れる歌二首 (六三三・三四)……………三三〇

娘子の、また報へ贈れる歌一首 (六三七)……………三三三

西海道節度使判官佐伯宿禰東人妻 贈三夫

君二歌一首

佐伯宿禰東人 和歌一首

池邊王宴誦歌一首

天皇 思三酒人女王二御製歌一首 女王者穗積
皇子之孫女也

高安王 裏鮎贈三娘子二歌一首 高安王後賜三姓
大原真人氏一也

八代女王 獻三天皇二歌一首

娘子 報三贈佐伯宿禰赤麻呂二歌一首

佐伯宿禰赤麻呂和歌一首

大伴四綱宴席歌一首

佐伯宿禰赤麻呂歌一首

湯原王 贈三娘子二歌二首 赤貴皇子之子也

娘子報贈歌二首

湯原王亦贈歌二首

娘子復報贈歌一首

湯原の王の、また贈れる歌一首 (六六八)	三三
娘子の、また報へ贈れる歌一首 (六六九)	三四
湯原の王の、また贈れる歌一首 (六七〇)	三五
娘子の、また報へ贈れる歌一首 (六七〇)	三六
湯原の王の歌一首 (六七三)	三七
紀の女郎の、怨恨の歌三首 鹿人の大夫の女、名を小鹿といへり。安貴の王の妻なり (六八三—八五)	三九
大伴の宿禰駿河麻呂の歌一首 (六八六)	三一
大伴の坂上の郎女の歌一首 (六八七)	三三
大伴の宿禰駿河麻呂の歌一首 (六八八)	三三
大伴の坂上の郎女の歌一首 (六八九)	三四
大伴の宿禰三依の、離れて復相へるを歡ぶる歌一首 (六九〇)	三五
大伴の坂上の郎女の歌二首 (六九一・六九二)	三六
大伴の宿禰駿河麻呂の歌三首 (六九三—九五)	三六
大伴の坂上の郎女の歌六首 (六九六—一〇一)	三四
市原の王の歌一首 (六九七)	三六
安都の宿禰年足の歌一首 (七〇二)	三七

湯原王亦贈歌一首	
娘子復報贈歌一首	
湯原王亦贈歌一首	
娘子復報贈歌一首	
湯原王歌一首	
紀女郎怨恨歌三首 鹿人大夫之女、名曰「小鹿」也 安貴王之妻也	
大伴宿禰駿河麻呂歌一首	
大伴坂上郎女歌一首	
大伴宿禰駿河麻呂歌一首	
大伴坂上郎女歌一首	
大伴宿禰三依 離復相歡歌一首	
大伴坂上郎女歌二首	
大伴宿禰駿河麻呂歌三首	
大伴坂上郎女歌六首	
市原王歌一首	
安都宿禰年足歌一首	

大伴の宿禰像見の歌一首 (六六四)	二四六
安倍の朝臣蟲麻呂の歌一首 (六六五)	二四九
大伴の坂上の郎女の歌二首 (六六六・六七)	二五〇
厚見の王の歌一首 (六六八)	二五三
春日の王の歌一首 志貴の皇子の子、母を多紀の皇女と曰す (六六九)	二五四
湯原の王の歌一首 (六七〇)	二五五
和ふる歌一首 作者を審にせず (六七二)	二五六
安倍の朝臣蟲麻呂の歌一首 (六七三)	二五七
大伴の坂上の郎女の歌二首 (六七四・七五)	二五八
中臣の女郎の、大伴の宿禰家持に贈れる歌五首 (六七九)	二六〇
大伴の宿禰家持の、交遊と別るる歌三首 (六八〇・八一)	二六四
大伴の坂上の郎女の歌七首 (六八二・八三)	二六六
大伴の宿禰三依の、別を悲める歌一首 (六八四)	二七三
大伴の宿禰家持の、娘子に贈れる歌二首 (六八五・八六)	二七三
大伴の宿禰千室の歌一首 いまだ詳ならず (六八九)	二七四
廣河の女王の歌二首 穗積の皇子の孫女、上道の王の女なり	

大伴宿禰像見歌一首	
安倍朝臣蟲麻呂歌一首	
大伴坂上郎女歌二首	
厚見王歌一首	
春日王歌一首 志貴皇子之子、母曰多紀皇女也	
湯原王歌一首	
和歌一首 不 _レ 審 _二 作者 _一	
安倍朝臣蟲麻呂歌一首	
大伴坂上郎女歌二首	
中臣女郎 贈大伴宿禰家持二歌五首	
大伴宿禰家持 與 _二 交遊 _一 別歌三首	
大伴坂上郎女歌七首	
大伴宿禰三依 悲 _レ 別歌一首	
大伴宿禰家持 贈 _二 娘子 _一 二歌二首	
大伴宿禰千室歌一首 未 _レ 詳	
廣河女王歌二首 穗積皇子之孫女、上道王之女也	

(六四・五) 三七四

石川の朝臣廣成の歌一首 後、姓高圓の朝臣の氏を賜へり

(六九) 三七六

大伴の宿禰像見の歌三首 (六九・七九) 三七七

大伴の宿禰家持の、娘子の門に到りて作れる歌一首

(七〇) 三八〇

河内の百枝の娘子の、大伴の宿禰家持に贈れる歌二

首 (七〇・七一) 三八一

巫部^{かみぎ}麻蘇^{まそ}の娘子の歌二首 (七〇・七一) 三八二

大伴の宿禰家持の、竹女に贈れる歌一首 (七〇・七一) 三八四

童女の、來り報ふる歌一首 (七〇・七一) 三八五

栗田女の娘子の、大伴の宿禰家持に贈れる歌二首

(七〇・七一) 三八六

豐前の國の娘子大宅女の歌一首 いまだ姓氏を審にせず

(七〇) 三八八

安都の扉の娘子の歌一首 (七一) 三八九

丹波の大女の娘子の歌三首 (七一・七二) 三九〇

大伴の宿禰家持の、娘子に贈れる歌七首 (七二・七三) 三九二

石川朝臣廣成歌一首 後賜^二姓高圓朝臣^一也

大伴宿禰像見歌三首

大伴宿禰家持 到^二娘子之門^一作歌一首

河内百枝娘子 贈^二大伴宿禰家持^一歌二首

巫部麻蘇娘子歌二首

大伴宿禰家持 贈^二童女^一歌一首

童女來報歌一首

栗田女娘子 贈^二大伴宿禰家持^一歌二首

豐前國娘子大宅女歌一首 未^レ審^二姓氏^一也

安都扉娘子歌一首

丹波大女娘子歌三首

大伴宿禰家持 贈^二娘子^一歌七首

天皇に獻れる歌一首 大伴の坂上の郎女、佐保の宅に在りて作

れり (七三) 二九七

大伴の宿禰家持の歌一首 (七三) 二九六

大伴の坂上の郎女の、跡見の庄より、宅に留れる女

子の大嬢に贈れる歌一首 短歌并はせたり (七三・四) 二九六

天皇に獻れる歌二首 大伴の坂上の郎女、春日の里に在りて作

れり (七五・三) 三〇三

大伴の宿禰家持の、坂上の家の大嬢に贈れる歌二首

(七五・三) 三〇四

大伴の坂上の大嬢の、大伴の宿禰家持に贈れる歌三

首 (七五・三) 三〇六

また、大伴の宿禰家持の、和ふる歌三首 (七三・四) 三〇八

同じ坂上の大嬢の、家持に贈れる歌一首 (七五) 三〇〇

また、家持の、坂上の大嬢に和ふる歌一首 (七三) 三〇二

同じ大嬢の、家持に贈れる歌二首 (七五・三) 三〇三

また、家持の、坂上の大嬢に和ふる歌二首 三〇四

更に大伴の宿禰家持の、坂上の大嬢に贈れる歌十五

獻天皇歌一首 大伴坂上郎女、在佐保宅_二作之也

大伴宿禰家持歌一首

大伴坂上郎女 從_二跡見庄_一贈_二賜留_レ宅女

子大嬢 歌一首 并短歌_一

獻天皇_二歌二首_一 大伴坂上郎女、在春日里_二作也

大伴宿禰家持 贈_二坂上家大嬢_一 歌二首

大伴坂上大嬢 贈_二大伴宿禰家持_一 歌三首

又大伴宿禰家持和歌三首

同坂上大嬢 贈_二家持_一 歌一首

又家持 和_二坂上大嬢_一 歌一首

同大嬢贈家持歌二首

又家持 和_二坂上大嬢_一 歌二首

更大伴宿禰家持 贈_二坂上大嬢_一 歌十五首

首 (七四・一五) 三五

大伴の田村の家の大嬢の、妹坂上の大嬢に贈れる歌

四首 (七五・一五) 三七

大伴の坂上の郎女の、竹田の庄より、女子の大嬢に

贈り賜へる歌二首 (七六・六) 三二

紀の女郎の、大伴の宿禰家持に贈れる歌二首 女郎名

を小鹿と曰へり (七六・三) 三四

大伴の宿禰家持の、和ふる歌一首 (七四) 三六

久邇の京に在りて、寧樂の舊き京に留まれる坂上の

大嬢を思ひて、大伴の宿禰家持の作れる歌一

首 (七五) 三七

藤原の郎女の、聞きて即和ふる歌一首 (七六) 三八

大伴の宿禰家持の、更に大嬢に贈れる歌二首

(七六・六) 三九

大伴の宿禰家持の、紀の女郎に報へ贈れる歌一首

(七九) 四一

大伴の宿禰家持の、久邇の京より坂上の大嬢に贈れ

る歌五首 (七〇・七) 四二

大伴田村家之大嬢 贈妹坂上大嬢歌四

首

大伴坂上郎女 從竹田庄贈賜女子大

嬢歌二首

紀女郎 贈大伴宿禰家持歌二首 女郎名

曰小鹿也

大伴宿禰家持和歌一首

在久途京、思留寧樂舊京坂上大嬢

大伴宿禰家持作歌一首

藤原郎女 聞之即和歌一首

大伴宿禰家持 更贈大嬢歌二首

大伴宿禰家持 報贈紀女郎歌一首

大伴宿禰家持 從久途京贈坂上大嬢

歌五首

大伴の宿禰家持の、紀の女郎に贈れる歌一首 (七五)……………三八

紀の女郎の、家持に報へ贈れる歌一首 (七六)……………三七

大伴の宿禰家持の、更に紀の女郎に贈れる歌五首

(七七・七八)……………三八

紀の女郎の、裏める物を友に贈れる歌一首 女郎字を小

鹿といへり (七八)……………三三

大伴の宿禰家持の、娘子に贈れる歌三首 (七八・八五)……………三三

大伴の宿禰家持の、藤原の朝臣久須麻呂に報へ贈れ

る歌三首 (八六・八八)……………三三

また、家持の、藤原の朝臣久須麻呂に贈れる歌二首

(八九・九〇)……………三六

藤原の朝臣久須麻呂の、來り報ふる歌二首

(九一・九二)……………三九

大伴宿禰家持 贈_二紀女郎_一歌一首

紀女郎 報_二贈家持_一歌一首

大伴宿禰家持 更贈_二紀女郎_一歌五首

紀女郎 裏物贈_レ友歌一首 女郎名曰_二小鹿_一也

大伴宿禰家持 贈_二娘子_一歌三首

大伴宿禰家持 報_二贈藤原朝臣久須麻呂_一

歌三首

又家持 贈_二藤原朝臣久須麻呂_一歌二首

藤原朝臣久須麻呂 來報歌二首

萬葉集卷の第五

雜歌

- 大宰の帥大伴の卿の、凶問に報ふる歌一首 (九三)…………… 三五
筑前の守山上の臣憶良の挽歌一首 短歌并はせたり
(七四・九九)…………… 三七四
山上の臣憶良の、惑へる情を反さしむる歌一首 短歌
并はせたり (二〇〇・〇一)…………… 三六三
山上の臣憶良の、子等を思ふ歌一首 短歌并はせたり
(二〇一・〇二)…………… 三九二
山上の臣憶良の、世間の住り難きを哀める歌一首 短
歌并はせたり (二〇四・〇五)…………… 三九六
大宰の帥大伴の卿の相聞の歌二首 (二〇六・〇七)…………… 四〇八
答ふる歌二首 (二〇八・〇九)…………… 四〇九
帥大伴の卿の、梧桐の日本琴を中衛の大將藤原の卿
に贈れる歌二首 (二一〇・一一)…………… 四二一

萬葉集卷第五

雜歌

- 大宰帥大伴卿 報_二凶問_一歌一首
筑前守山上臣憶良挽歌一首 并_二短歌_一
山上臣憶良 令_レ反_二或情_一歌一首 并_二短歌_一
山上臣憶良 思_二子等_一歌一首 并_二短歌_一
山上臣憶良 哀_二世間難_レ住_一歌一首 并_二短
歌_一
大宰帥大伴卿相聞歌二首
答歌二首
帥大伴卿 梧桐日本琴贈_二中衛大將藤原
卿_一歌二首